

# 知られざる 血友病Bについて



**近澤 悠志**先生  
東京医科大学医学部医学科  
臨床検査医学分野助教

**小倉 妙美**先生  
静岡県立こども病院  
血液凝固科医長

[司会]  
**鈴木 隆史**先生  
医療法人財団 荻窪病院  
血液凝固科部長

**松本 剛史**先生  
三重大学医学部附属病院  
輸血・細胞治療部助教

血友病には、血友病A(凝固第VIII因子の先天性欠損症)と血友病B(凝固第IX因子の先天性欠損症)がある。両方で欠損している凝固因子は異なるものの、血友病Bの患者数は血友病Aの5分の1と少なく、そのエビデンスも乏しい。血友病Bの臨床症状は血友病Aとほぼ同じであることから、これまで血友病Aに準じた治療が行われてきた。血友病Aの病態解明・治療の進歩が図られた今、本座談会では改めて血友病Bに焦点を当てる。血友病Bの治療上の課題、血友病B患者が置かれている状況、血友病Aとの病態の違い、小児例における血友病B治療の実際、さらに血友病B患者のQOLを考慮した治療のあり方について討論いただいた。